

証券コード 4987



# 第111期 株主通信

2020年4月1日から2021年3月31日まで



株式会社 寺岡製作所

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第111期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の事業の概況のご報告にあたりご挨拶申し上げます。

### 当期の業績

当期は、米中貿易摩擦の長期化および新型コロナウイルス感染症拡大の影響により通年で減収となったものの、固定費削減等可能な限りの様々な施策を実行し、9月以降は黒字基調を定着させた結果、上期の大幅な赤字を下期で挽回し、全利益項目で黒字を達成しました。各部門の取り組みにつきましては、営業部門において、車載用・電子部品用テープの受注回復・拡大・新規商権獲得に注力するとともに、不採算取引の見直し、新たなモデルのビジネスを開始する一方で、在宅勤務等を駆使した新しい働き方による生産性向上を推し進めました。技術部門においては、新技術に裏付けられた新製品の上市、中長期的な事業展開を睨んだ新規大型設備への投資に取り組みました。管理部門においては、従来業務のゼロベースでの見直しや業務改革による生産性向上に努めました。その結果、当連結会計年度の売上高は、216億62百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は、1億28百万円（前年同期比24.2%増）、経常利益は2億45百万円（前年同期比415.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は91百万円（前年同期比39.1%減）となりました。

### 配当について

当期の期末配当金につきましては、1株につき9円（うち、普通配当5円、創業100周年記念配当4円）とさせていただきます、先に行いました中間配当金1株につき3円と併せて当期の年間配当金は1株につき12円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役社長

辻 賢一

代表取締役会長

寺岡敬之郎



代表取締役社長  
辻 賢一

社外取締役  
八田 圭子

代表取締役会長  
寺岡 敬之郎

## 特集：100周年記念対談 次の100年に向けて

100年企業の継続と変革



創業100周年という大きな節目を迎えた寺岡製作所。寺岡会長、辻社長、八田社外取締役の対談を実施し、これまでの歩みと未来への展望につき語り合いました。

### 100周年を迎えて

**八田** 創業100周年おめでとうございます。様々なご苦労があったと思いますが、無事100周年を迎えられた今の率直なお気持ちをお聞かせください。

**会長** 有難うございます。大正10年（1921年）に現在も本社のあるこの場所品川の地に創業して以来、今年（2021年）2月11日に創業100周年をめでたく迎えることができました。これはひとえに多くの方々からのご愛顧とご支援の賜物であると深く感謝しております。当社の歴史を振り返ってみますと、創業以来粘着テープひとすじで開発・製造・販売を行ってきましたが、時代に合わせ、

主力製品は変遷して参りました。創業当時はブラックテープという電気絶縁用テープが主力製品でしたが、昭和25年の朝鮮動乱をきっかけとして、オリブテープに代表される布テープを主力とする梱包・包装用テープが当社の屋台骨を支えるようになりました。その後、当社は三代目寺岡基之社長が唱えた「顧客の声を聞く、小回りを利かせる」体制を具現化し電機・電子用テープに注力してきました。電機・電子用テープは、終戦直後はアメリカからの輸入品が強かったのですが、当社も製品の多様化を図る目的で昭和30年代頃からビニールテープ、ポリエステルテープ、アセテートテープ等を中心として開発し上市して参りました。現在の平成・令和の時代では、スマートフォンやタブレット等の電気機器の内部で使用される電機・電子用テープが売上高シェアの半分以上を占めるようになっていきます。お客様の声の一つひとつに応えることで積み重ねてきた100年でした。

私は、創業者の寺岡璋浩社長、二代目の松永金太郎社長、そして私の父の三代目寺岡基之社長に継いで、第四代目社長として寺岡基之社長から受け継いだ「技術の寺岡」の評判に恥じないよう地味ながらも堅実に経営し、次の世代につなげようと努力してきました。製品や仕様は時代や環境によって変わってきましたが、技術に基づいた製品開発を変わずに続けてきたことは誇りに思っています。



## 100周年を迎えることができた理由

**八田** 昨年社外取締役役に就任するにあたり、先ず社と財務諸表を拝見しました。社は昭和37年に当時の寺岡基之社長がお作りになり、59年も受け継がれてきたとのことですが、渋沢栄一翁の「論語と算盤」のような哲学と申しますか、品質への拘りは勿論なのですが、ステークホルダーを意識した利他の心、社会への貢献と共に、働く社員の生活を守り抜く、という強い思いが感じられました。そして財務諸表からは非常に堅実で安全な経営をしてこられたようにお見受けしました。実際のところ、100年続いた理由と当社の強みについてどのようにお考えでしょうか。まずは創業家以外で初めての社長になられた辻社長、お願いいたします。

**社長** 100年生き残れた理由は、ひとつに、この会社の根幹に、全ての物事に対して真面目である、誠実であるというところがあり、代理店様やお客様にその

誠実さをご理解およびご評価いただいて結果的に代理店様、お客様に恵まれて支えていただけたこと、そしてそれに応えようとして社員および役員が共にその時代、時代に努力をしてきた積み重ねにあると思います。

もう一つは、この会社は不思議と運めいたものを持っていると感じています。運は全員に均等に与えられるものだと考えますが、例えば、当社は昭和の時代に火災により二度の工場全焼等の逆境にあっても、やるべきことをやりきってあとは運に任せるといふ姿勢で逆境を跳ね返し、その後の運をしっかりと掴んできたため、本当の危機的状況に陥ることがなくこれたのではないかと考えています。会社も人もある程度の逆境がないと伸びない。ただ、それを乗り越えた時には違った景色が見える。逆境のない会社は逆に100年続かないと思います。当社が一つの組織として同じ目標に向かうことを非常にカジュアルにできる規模であることも、100年続いた理由だと思います。



**会長** 創業者の寺岡璋浩は祖父にあたるのですが、創業して間もない昭和1桁の頃、この地で創業家と従業員は朝晩、同じ釜の飯を食いながら働いていたことを幼少の頃聞かされたことがあります。終戦後は、二代目松永金太郎社長と三代目寺岡基之社長そして何人かの同僚とでの技術軍団で寺岡を経営してきており、当初より非常に纏まりがあったことで戦後の発展の時代にうまく乗れたのではないかと思います。そうしたことがベースとなり当社には「家族的社風」が培われてきました。一方、家族的であるがゆえ家長や目上の人を敬い、周囲との人間関係を大切に作る雰囲気があったため、先輩の言うことをよく聞くというような個性を持った人が多く、逆に新しいことにチャレンジする風土が育ちにくかった面があったかもしれません。創業100周年を迎え、良い点は残しつつも改善すべき点、時代に合わせるべき点は見直していけばよいと考えています。

## 粘着テープとテクノロジーの関係、粘着テープの将来性

**八田** 当社は技術の発達に伴ってテープを進化させてきたという歴史があります。今後も地球環境と共存していく未来に向けて、自動車産業や通信産業等のテクノロジーは大きく変化していくと思います。それらとの関係や粘着テープの将来性について教えてください。

**社長** 塗装の言葉で「塗膜」という言葉があり、それになぞらえてテープの機能を「とめる、まもる、くっつける」と私は表現しているのですが、粘着テープの機能は、この3つの機能にほぼ集約されるのです。粘着テープの良さは「軽い」こと「精度が高い」こと、「形状追随性がある（くっつけるものの形に合わせられる）」こと、そして「お客様の生産性向上に貢献できる（合わせれば瞬時にく



つつくためお客様の生産性を上げられる)」ことが挙げられます。従って、粘着テープは世の中が変化していても非常に柔軟についていけるという特徴を備えており、我々の使命は粘着テープを使い、お客様にどういったソリューションを提供できるのかをきちんと今そして近未来を含めて考えて提案することにあります。そうしたことを非常にしやすい製品といいますか、フレキシビリティがある製品を扱っているところが強みであります。そして粘着テープがお世話になっている業界はものすごくそ野が広い。だから、いかようにでも対応し、

進化し続けていける、というところが我々の強みとしていかなければならないところでもあり、コア技術および粘着テープの将来性を担保する強みではないかなと理解しています。

**会長** 当社の特徴は技術者がお客様のところへ出向き、ご要望に対しオーダーメイドでお客様の用途に合わせた製品を作る研究開発体制にあります。当社が培ってきたこの体制は、今後とも当社の研究開発の基本とすべきところです。加えて当社はインドネシアに生産拠点を持っております。世界で一番経済活動が活発な地域の一つである東南アジアに生産拠点があるということは、当社のこれからの発展にとって、プラスとなっていくものと思っております。

**八田** テープ自身の持つフレキシビリティとグローバルな視野でもビジネスを広げていくということですね。

## 新たな100年に向けて

**八田** 今年は新5か年中期経営計画の策定の年になります。新たな100年に向けての第一歩でもありますので、今後具体的に取り組んでいく課題や目標それから新たな決意など教えていただければと思います。

**社長** 今回、中期経営計画を5年間にした理由は、現在世界は第4次産業革命の真只中であり、今後の5年間に、例えばある技術のデファクトスタンダード（事実上の標準）が出来上がるということが起こり得ると考えたからです。この変革期、我々がどう対処するかで30年後、50年後の未来が決まるという意味でも非常に重要な期間になると思います。

今年、当社は初めて経営理念として「変化を厭わず、過程を重んじ、人と自然と技術の調和を追求した“新世紀”の価値の創造に挑戦する」を掲げました。人類は過去250年間、地球の自然を徹底的に破壊し続けてきた。もう大量生産大量消費の時代は終わりつつあり、貴重な資源を有効的に活用して質的な充実と拡大を追求するような形の礎を我々も作っていかねばならないと考えています。5年後に目指す姿として掲げたビジョンは、「Smart Convenience Producer」です。製品を売るだけだという考え方をやめ、コンビニエンスストアのように便利さを売る、製品にサービスを含めた様々な付加価値をつけて売る、総合的な製造業を目指していきたいと考えました。スマートとは頭を使いお客様の要望を感じながら動いていくという意味、また環境を破壊するような便利さは提供せず、人と自然と技術が調和したテクノロジーの追求をしていかなければならないという意味を含めて、そういったものを社内外に対し総合的にプロデュースできるような集団になろうよということで「Smart Convenience Producer」としました。

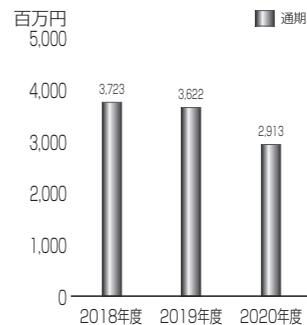
**会長** 加えて、株主様、お取引先様、従業員や地域社会などに対しても報いていくような企業であり続けるということも今後100年やっていかなければならないことであると思っています。

**社長** 会長のおっしゃる通り、全ての利害関係者に報いるということが我々のミッションだと思っているので、お客様において環境負荷が減るような製品技術を提供するのは勿論のこと、製品の製造段階においてもロスを少なく、廃棄を少なく、エネルギーは少なくともアウトプットはしっかり出し、きちっとした製品をお客様にお使いいただいて良い意味での好循環を作り出し、全ての利害関係者に企業としての存在価値、存在意義を認めていただけるような企業にならないといけないということで、今回100年目に改めてもう一度襟を正してそういう会社には是非なろうということに意を強くしている所存です。

**八田** 次の100年に向け力強い決意を有難うございました。これで本日の対談を終わります。

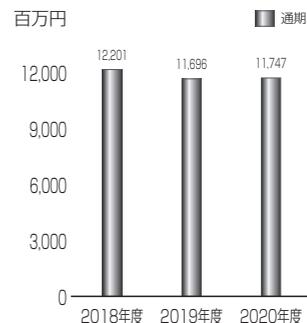
梱包・包装用テープ

在宅勤務の増加、巣ごもり需要により、ホームセンター向け需要は堅調であったものの、法人向けテープ需要の減少、不採算取引の見直しにより、当製品部門の売上高は29億13百万円（前年同期比19.6%減）となりました。



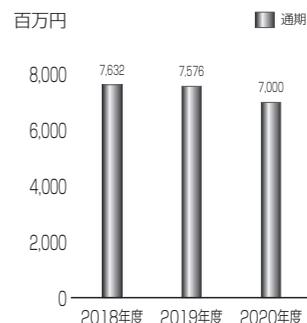
電機・電子用テープ

生産活動停滞による需要減少に伴い、上期は低調に推移しておりましたが、車載用・電子部品向け受注が年度後半から回復したため、当製品部門の売上高は新たなモデルのビジネスも含め117億47百万円（前年同期比0.4%増）となりました。



産業用テープ

車載用テープの需要が年度後半より回復基調になったものの、オフィス関連、イベント関連、建築関連の需要低迷により、当製品部門の売上高は70億円（前年同期比7.6%減）となりました。



連結財務指標等

科目 \ 期別	第107期 (2016年度)	第108期 (2017年度)	第109期 (2018年度)	第110期 (2019年度)	第111期 (2020年度)
売上高 (百万円)	21,262	22,815	23,558	22,895	21,662
営業利益 (百万円)	1,038	1,319	1,144	103	128
経常利益 (百万円)	702	1,216	1,366	47	245
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	616	921	1,034	149	91
総資産 (百万円)	34,639	35,575	35,854	35,139	37,033
純資産 (百万円)	27,994	28,686	28,978	27,939	29,046
売上高営業利益率 (%)	4.9	5.8	4.9	0.5	0.6
売上高経常利益率 (%)	3.3	5.3	5.8	0.2	1.1
ROE (自己資本利益率) (%)	2.2	3.2	3.6	0.5	0.3
ROA (使用総資本利益率) (%)	1.8	2.6	2.9	0.4	0.2
自己資本比率 (%)	80.8	80.6	80.8	79.5	78.4
1株当たり当期純利益 (円)	23.96	36.37	40.84	5.90	3.59
1株当たり純資産 (円)	1,105.03	1,132.39	1,143.92	1,102.89	1,146.61
1株当たり配当金 (円)	11.00	12.00	14.00	10.00	12.00

(注) 1. 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。  
2. ROEおよびROAは、期首と期末の平均値により算出しております。

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別 前連結会計年度 2020年3月31日現在	当連結会計年度 2021年3月31日現在	増 減
(資産の部)			
<b>流動資産</b>	<b>20,845</b>	<b>20,281</b>	<b>△564</b>
現金および預金	9,807	8,466	△1,341
受取手形および売掛金	5,707	5,891	184
電子記録債権	1,034	1,165	131
商品および製品	1,812	2,361	549
仕掛品	1,120	1,076	△44
原材料および貯蔵品	912	844	△68
その他	457	484	27
貸倒引当金	△7	△8	△1
<b>固定資産</b>	<b>14,294</b>	<b>16,751</b>	<b>2,457</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>11,322</b>	<b>12,528</b>	<b>1,206</b>
建物および構築物	3,365	3,500	135
機械装置および運搬具	2,444	2,348	△96
土地	4,033	4,039	6
リース資産	211	193	△18
建設仮勘定	892	1,996	1,104
その他	375	450	75
<b>無形固定資産</b>	<b>111</b>	<b>113</b>	<b>2</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,860</b>	<b>4,109</b>	<b>1,249</b>
投資有価証券	2,600	2,956	356
繰延税金資産	96	18	△78
退職給付に係る資産	—	939	939
その他	166	194	28
貸倒引当金	△2	—	2
<b>資産合計</b>	<b>35,139</b>	<b>37,033</b>	<b>1,894</b>

(単位：百万円)

科目	期別 前連結会計年度 2020年3月31日現在	当連結会計年度 2021年3月31日現在	増 減
(負債の部)			
<b>流動負債</b>	<b>6,120</b>	<b>6,381</b>	<b>261</b>
支払手形および買掛金	1,298	1,426	128
電子記録債務	2,583	2,319	△264
短期借入金	—	120	120
リース債務	19	19	—
未払法人税等	53	92	39
未払費用	507	556	49
その他	1,658	1,846	188
<b>固定負債</b>	<b>1,080</b>	<b>1,605</b>	<b>525</b>
長期借入金	—	179	179
リース債務	210	190	△20
繰延税金負債	37	464	427
環境対策引当金	315	74	△241
退職給付に係る負債	104	75	△29
資産除去債務	304	504	200
長期未払金	56	56	—
その他	51	59	8
<b>負債合計</b>	<b>7,200</b>	<b>7,986</b>	<b>786</b>
(純資産の部)			
<b>株主資本</b>	<b>27,174</b>	<b>27,062</b>	<b>△112</b>
資本金	5,057	5,057	—
資本剰余金	4,643	4,643	—
利益剰余金	17,935	17,824	△111
自己株式	△462	△462	△0
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>764</b>	<b>1,983</b>	<b>1,219</b>
その他有価証券評価差額金	763	1,140	377
為替換算調整勘定	137	262	125
退職給付に係る調整累計額	△136	581	717
<b>純資産合計</b>	<b>27,939</b>	<b>29,046</b>	<b>1,107</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>35,139</b>	<b>37,033</b>	<b>1,894</b>

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度	増 減
		2019年4月1日から 2020年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	
売 上 高		22,895	21,662	△1,233
売 上 原 価		17,411	16,733	△678
売 上 総 利 益		5,483	4,928	△555
販売費および一般管理費		5,379	4,799	△580
<b>営 業 利 益</b>		<b>103</b>	<b>128</b>	<b>25</b>
営業外収益		160	228	68
受取利息および配当金		106	91	△15
為 替 差 益		—	83	83
受 取 保 険 金		22	18	△4
そ の 他		30	35	5
営業外費用		216	111	△105
為 替 差 損		135	—	△135
支 払 手 数 料		53	67	14
そ の 他		27	44	17
<b>経 常 利 益</b>		<b>47</b>	<b>245</b>	<b>198</b>
特別利益		269	392	123
投資有価証券売却益		247	174	△73
固 定 資 産 売 却 益		22	—	△22
環 境 対 策 引 当 金 戻 入 益		—	217	217
特別損失		—	336	336
資 産 除 去 費 用		—	195	195
固 定 資 産 除 却 損		—	140	140
<b>税金等調整前当期純利益</b>		<b>317</b>	<b>302</b>	<b>△15</b>
法人税、住民税および事業税		161	139	△22
法 人 税 等 調 整 額		6	71	65
<b>当 期 純 利 益</b>		<b>149</b>	<b>91</b>	<b>△58</b>
親会社株主に帰属する当期純利益		149	91	△58

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度	増 減
		2019年4月1日から 2020年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,458	2	△1,456
投資活動によるキャッシュ・フロー		△911	△1,536	△625
財務活動によるキャッシュ・フロー		△272	77	349
現金および現金同等物に係る換算差額		△41	44	85
現金および現金同等物の増減額(△は減少)		232	△1,411	△1,643
現金および現金同等物の期首残高		8,959	9,192	233
現金および現金同等物の期末残高		9,192	7,780	△1,412

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 配当政策について

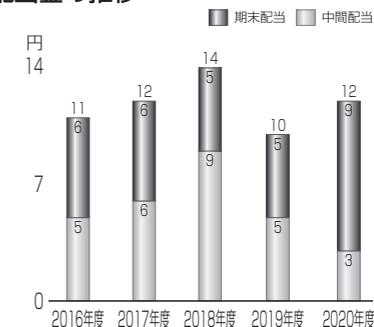
### 配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最も重要な経営課題の一つとして認識しており、安定的な配当の継続実施を利益還元の基本方針の一つに据えております。配当に関しましては、当期の経営成績、財政状態、キャッシュ・フロー、配当性向などの配当額に影響を及ぼす要素に加え、今後の事業戦略、事業展開の方針や予想などを総合的に勘案し、投資のための資金確保にも配慮しつつ、一定程度の柔軟性を確保する考え方をベースとしております。

### 配当金

当期の期末配当金は1株あたり9円(うち、普通配当5円、創業100周年記念配当4円)とさせていただきます。これにより、当期の1株あたりの年間配当金は、先に実施いたしました中間配当金3円とあわせて12円となります。

### 配当金の推移



会社の概要 (2021年3月31日現在)

社名 株式会社 寺岡製作所  
 TERAOKA SEISAKUSHO CO.,LTD.  
 創業 大正10年2月11日  
 設立 昭和18年5月5日  
 資本金 5,057百万円  
 従業員数 714名 (連結) / 521名 (単体)

主な事業所

本社 東京都品川区広町一丁目4番22号  
 (〒140-8711)  
 TEL (03) 3491-1141  
 FAX (03) 3491-1143

東京支店 東京都品川区広町一丁目4番22号  
 (〒140-8711)  
 TEL (03) 3779-9211  
 FAX (03) 3779-9210

大阪支店 大阪市東淀川区菅原四丁目9番6号  
 (〒533-0022)  
 TEL (06) 6329-4555  
 FAX (06) 6326-5689

名古屋支店 名古屋市北区長喜町一丁目20番地  
 (〒462-0036)  
 TEL (052) 912-1123  
 FAX (052) 912-1137

営業所等 ソウル・台北

工場 茨城・佐野・函南

研究所 東京

子会社 神栄商事株式会社

寺岡製作所(香港)有限公司

寺岡(上海)高機能膠粘帯有限公司

寺岡(深圳)高機能膠粘帯有限公司

PT. Teraoka Seisakusho Indonesia

役員 (2021年6月22日現在)

代表取締役社長	辻 賢一
代表取締役会長	寺岡 敬之郎
常務取締役	内藤 雅和
取締役	滑川 泰志
取締役	石崎 修久
取締役	久保 達哉
取締役	朝倉 信司
取締役	上田 圭也
取締役	八木 市典
常勤監査役	野見山 豊
監査役	渡邊 正
監査役	三宅 樹
監査役	境 晴

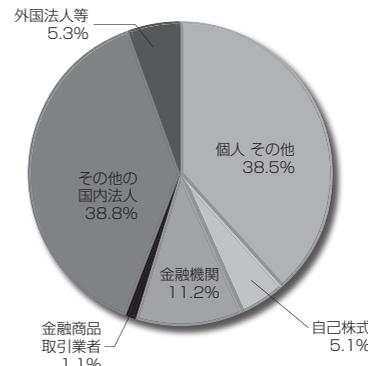
株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株  
 発行済株式の総数 26,687,955株  
 株主数 3,848名  
 大株主

株主名	持株数	持株比率
伊藤忠商事株式会社	6,672.0	26.34%
寺岡製作所取引先持株会	3,044.0	12.02%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	990.1	3.91%
株式会社三菱UFJ銀行	818.8	3.23%
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	780.0	3.08%
寺岡 敬之郎	773.6	3.05%
株式会社りそな銀行	678.8	2.68%
寺岡 くに子	526.0	2.08%
寺岡製作所従業員持株会	401.3	1.58%
ヤスハラケミカル株式会社	250.0	0.99%

(注) 自己株式は、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式(1,355,435株)を控除して計算しております。

所有者別保有状況



第111期定時株主総会決議ご通知

2021年6月22日開催の当社第111期定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

記

報告事項 1 第111期(2020年4月1日から2021年3月31日まで) 事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件  
 2 第111期(2020年4月1日から2021年3月31日まで) 計算書類の内容報告の件  
 本件は、上記内容を報告いたしました。

決議事項 第1号議案 剰余金の処分の件  
 本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金は1株につき9円と決定いたしました。  
 第2号議案 取締役2名選任の件  
 本件は、原案どおり承認可決され、取締役に朝倉信司氏および古市克典氏が選任され、就任いたしました。なお、古市克典氏は社外取締役であります。  
 第3号議案 補欠監査役1名選任の件  
 本件は、原案どおり承認可決され、補欠監査役に菅谷真之氏が選任されました。

以上

## 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月開催
配当金をお支払いする株主確定日	3月31日 (中間配当を行う場合 9月30日)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 方 法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。 ホームページアドレス <a href="https://www.teraokatape.co.jp/">https://www.teraokatape.co.jp/</a>
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第二部
証 券 コ ー ド	4987

### お知らせ

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式会社 寺岡製作所

〒140-8711 東京都品川区広町一丁目4番22号  
<https://www.teraokatape.co.jp/>